

有限会社こうの動物病院

① 事業

整形外科及び眼科における大学病院と同等のクオリティの実現

② 対象類型

革新的サービス

③ 導入機械装置

超音波診断装置／Aplio me V、眼底カメラ／Clear View2
スリットランプ／SL-19plus、トノペンAVIA、FASPRO HS
高周波手術装置／maXium

④ 経営理念

人と動物が信頼関係で結ばれ、
幸せに暮らしていけるようお手伝いします。

犬・猫の専門病院として開業し、50年の歴史刻む

1976（昭和51）年、犬・猫の病気予防、治療の動物病院として初代の高野次治病院長が開業して以来、半世紀にわたり飼い主と動物たちの幸せを願い、治療や躰・生活指導に当たってきた。2年前に2代目の高野重徳氏が病院長に就任、ハイレベルな環境で磨いてきた技術と感覚を生かし、年間1万件を越す治療数を犬・猫の地域医療に貢献している。

犬に多い病気のひとつに白内障や緑内障があり、加齢によって出現することが多い。しかし、人と違って日帰りの手術は難しく、術後も細心の管理が必要で、症状がある場合は隣県の大学に紹介するが、島根県からは距離が遠いことや治療費が高額のため、飼い主の負担が大きい。中には手術のメリットが小さい場合もあり、クリニックでの受診段階で手術が適正であるかどうかが明確になれば、動物と飼い主両方の負担を減らすことにつながる。そこで、高機能の検査機器及び周辺関連機器、手術装置の導入を検討することにした。

最新器機で眼の検査や外科的治療がスムーズに

補助事業を活用し導入したのは、超音波診断装置、眼底カメラ、スリットランプ、トノペンAVIA、FASPRO HS、高周波手術装置の機器。超音波診断装置は、深さ方向に絞れたビーム照射が可能で、多くの受信信号を同時に処理できる。これにより広い範囲の画像を高解像度、高フレームレートで取得できる。眼底カメラは、オートキャプチャー技術により、動物の眼底画像をオートで撮影。これにより、迅速に眼底画像をデジタル上に保存でき、撮影時間が短縮する。スリットランプは、犬及び猫の前眼部の観察ができ、画像をスムーズにデジタル上に保存できる。トノペンAVIAは、わずか1回の測定で高精度の眼圧値測定ができ、LEDの色で眼圧測定値の信頼性を分かりやすく知ることができる。FASPRO HSは最先端の液体レンズを採用。被写体へオートフォーカスができ、治療者は、被写体との距離を気にせず自身の目と同様の感覚で撮



代表取締役 高野 重徳



①高周波手術装置（電気メス）。手術によってメニューが設定してあり、切り替えて使用
②非常に細かいコントラストまでよくわかる超音波診断装置
③眼圧を測定するトノペンAVIA。動物の眼に直接点眼麻酔をして使用



影できる。高周波手術装置は、切開波と凝固波を交互に出力する内視鏡室専用CUTモードを搭載。穿通枝の止血や手技途中の凝固時、求める凝固深度・スピードに合わせたモードを選択でき、治療時に確実に十分な止血処置が可能となる。

機器導入により、ペットの高齢化に対応した検査・治療体制の確立を実現することができ、診断体制の在り方を見直すことにつながった。特に整形外科と眼科においては、大学病院と同等のクオリティの治療が可能となった。

地方の動物病院として ニーズに応じた治療を目指す

本来、社会の流れとして細分化や専門化が進む中で、地方の動物病院においては、あらゆる病気やけがに対応することが求められている。「すぐに大学病院へ紹介するのは顧客にとって不利益が大きい。大学病院へお任せする部分とクリニックで治療できることをきちんと判断することが大切」と、高野代表取締役。

今後、地方の動物病院において、整形外科・眼科に限らず高難度治療のニーズは拡大する方向という。当院では、本事業を広く情報発信し、大学病院とつながりながら他院から治療の紹介を受けることで利用促進を図る考え。そして、機器導入により疾患のみにフォーカスしていたこれまでの診断のあり方を見直し、「求められる形へと変化させること」、さらに「眼科治療提供体制の構築」に取り組んでいる。

Company Data

有限会社こうの動物病院



外観

代表者名	高野 重徳
設立年	1992（平成4）年
資本金	3,000千円
従業員数	10名
主たる業種	技術サービス業
本社	〒693-0021 出雲市塩冶町533番地1
電話	0853-22-9284
FAX	0853-21-7693
URL	https://kounodoubutubyouin.com/